

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2874900026		
法人名	社会福祉法人香寿会		
事業所名	グループホームしいの木荘		
所在地	兵庫県美方郡香美町香住区森61-1		
自己評価作成日	平成27年11月13日	評価結果市町村受理日	平成28年1月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/28/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 ライフ・デザイン研究所
所在地	兵庫県神戸市長田区菟乃町2-2-14
訪問調査日	平成27年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

山や田畑に囲まれた自然豊かな静かでゆったりとした環境の中にある施設です。四季折々の風景で季節を感じながら、ご利用者一人ひとりが今ある機能を活かしながら個性的で自由に生きいきと生きがいを持って楽しく生活して頂けるように支援します。特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスと併設し、職員研修会、各種行事また、緊急時や健康管理面での協力体制を確立しており、職員のスキルアップやご利用者の安全、安心な生活につながっています。また、“しいの木荘夏祭り”等各種行事などで利用者・家族・地域住民・ボランティアと交流を図り事業所が孤立しない様に努めるとともに、ご家族との連絡を密に行い信頼関係が構築されています。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

①**本人本位の暮らしの支援**・法人の理念(「人権尊重」「入居者目線」「生き甲斐のある生活」がキーワード)を体现すべく、入居者個々人がそれぞれに望む暮らしとなるよう、特に「会話」を大切にしながら支援している。法人のスケールメリットを活かした併設事業所(介護老人福祉施設)との合同行事等(ハートフルフェスタ、七夕まつり、夏祭り、そうめん流し、焼き芋大会等)や事業所での季節行事・地域見聞録、多彩なクラブ活動(仮装、料理、喫茶、書道、音楽、読書、図工、回想等)、園児・児童との交流等を演出し、入居者の自己決定により参加し楽しんでおられる。②**家族・ボランティアのサポート**・事業所で実施する様々な行事(季節行事:節分、ひな祭り、七夕、敬老会、クリスマス、餅つき大会や)口外出:地域見聞録、買い物ツアー等)において家族やボランティアの協力が多く入居者も喜んでおられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念・事業所の運営方針は唱和、研修を通じて職員全員で理解に努め共有し利用者本位にケアするように努めている。	法人理念のキーワード「『人権尊重』『本人本位』『生き甲斐のある生活』」を基軸に入居者の自立を支援し、ホーム全体で相互協力をはかりながら家族とも協同しその実現に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の自治会長を通じて祭り等の地区行事へ招待して頂き参加している。近くのレストランへ外食に出かけたりスーパーマーケットへ買物に出かけたりし地域住民として認識できるように地域交流に努めている。	近隣商店の利用、季節行事における地域との双方向での交流(夏祭り、秋祭り、ハートフルフェスタ等)やボランティアの協力による地域見聞録、園児・児童とのふれあい等、地域に根差した暮らしが常態となっている。	今後も、地域の方々の協力の下、地域における社会資源の一つとしての積極的な活動の継続に大いに期待をします。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で意見交換の場を設け、利用者の現状やケアの実践・事業の具体的実践内容を説明して理解して頂くようにしている。地域の中学生を福祉体験で受け入れ、認知症についても理解して貰えるように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で意見交換を行い、地域の祭りへの参加や研修の講師をお願いして講義して頂きサービスの向上に努めている。	会議では、事業所からの情報発信にとどまることなく、衛生面・安全面、地域交流、ボランティア協力、クラブ活動、入居者と家族の関係性等、多岐にわたり意見交換等を実施し、事業所運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター主催の地域ケア会議に出席。当施設主催の運営推進会議に地域包括支援センターの職員が出席。介護認定調査等必要に応じて都度連絡を取りながら協力関係を築いている。	毎月実施の地域ケア会議(地域包括支援センター主催、町職員も出席)に参加し、情報の共有、課題の相談・検討等を行っている。町の担当者とは連携を密にし、運営が閉鎖的なものとならないように努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修の課題とし職員相互で資料作成を行い学習の機会を持ち、理解を深め身体拘束をしないケアの意思統一に努めている。	研修・勉強会及び事例検討を通じ、職員は身体的拘束等の弊害を充分理解し、入居者の自己決定を最優先に支援している。「言葉かけ」の方法・タイミングには特に留意している。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止についても職員研修の課題として事業所内研修を行い、職員相互で話し合いながら意識付けを行い虐待の防止に努めている。	研修・勉強会並びに日々の支援の振り返りを踏まえ「不適切なケア」のレベルからの払拭に取り組んでいる。また、職員が孤立化しないよう、コミュニケーション重視の運営となるよう取り組んでいる。	

自己	者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内研修により目的・意義等の概要は全職員が理解している。現在制度を利用している入居者はいないが、今後制度を利用する入居者が入居してきても現段階では実践能力は難しい状況である。	現在、権利擁護に関する制度を活用している方はおられないが、職員は研修を通じて制度の活用が認知症高齢者への支援の一方策として有効であることは理解しており、その視点で入居者及び家族と関わっている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は入所契約書・重要事項説明書等により疑問・不安な点が無いように納得して頂けるまで十分に話し合い、後日疑問点が発生した時は電話等で納得して頂けるまで説明している。	事業所見学・質疑応答・アセスメントを実施し、疑問・不安感なく、及び、入居後に不具合が生じないようにして契約を締結している。気づいた点については入居後も聴き取り、丁寧に説明している。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表委員として出席して頂き、率直な意見・要望を伺い職員会議で検討して全員で意思統一して要望に応えるようにしている。都度の面会時等にも意見を伺い運営に活かしている。	運営推進会議、行事参加時、来訪時、電話、意見箱等、様々な機会を設けて意見・要望を受けている。頂いた意見等は職員全員で検討し必ずフィードバックしている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回定例に開催する法人全体の運営委員会に管理者が出席、事業所の現状報告と共に職員の意見・要望等を発言して法人全体の問題としてとらえ希望にそえるように努めている。	月例での職員会議において現況の課題等を出し合い本部での会議に上申し、ブラッシュアップできるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員の要望等を常に聞きその要望が適うように考慮している。職場環境にも配慮し職員がストレスを溜めないように、明るく話しやすい向上心の持てる職場作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人・事業所内及び外部研修への出席を勧め職員個々のケアの向上を図り、資格習得を勧め希望に添うサポート体制を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回地域包括支援センター主催の地域ケア会議に管理者が出席。同業者との交流及び他業種からの情報収集・交換を行い必要事項について職員会議等で検討しケアの質の向上を図っている。		

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用前の事前面接時、ご本人・ご家族共に面談を行い不安事項や要望事項を伺いながら誠実にお答えして不安を取り除き安心を図り、要望等に添えるように取り組んでいる。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用前の事前面接に、ご本人とご家族にも同席して頂き不安・要望等率直に伺い希望に添えるように取り組んでいる。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用前の事前面接時に、ご本人及びご家族より得た情報やご本人の状態を把握し、後日疑問点等が起きたときはご本人・ご家族へ連絡して伺いより良いサービスの提供に努めている。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活を通して人生の先輩として尊敬した言葉かけを行い、家事等の軽作業を通して出来ることは無理強いせず自己決定に基づきして頂いている。		
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人が体調不良等の状態に変わったことがあった時はご家族に連絡しご本人の現状を知って頂き、相談しながらご本人のために最も良い方法で支援できるように対応している。		
20	(11) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望により盆・彼岸の墓参りや自宅・以前の勤務箇所への外出支援により馴染みの人との会話を図ったり先祖・家族等との繋がりが続くように支援している。	家族との外出(買い物・食事・通院・法事・墓参り等)・外泊、友人・知人の訪問、出身地域の祭り見学等今までの生活感ができるだけ長く継続するよう支援している。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	クラブ活動・行事・レクリエーション及び家事等の軽作業を通して、自分で出来ることはして頂き出来ないことはお互いに助け合って頂くように支援している。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22			○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されてもご本人・ご家族の近況等伺いながら、必要に応じて相談・援助が出来るように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(12)		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活行為の一動作毎に言葉かけを行い、ご本人の気持ちに寄り添いながら思いが実現するように対応している。	入居者個々との日々の係わり(一対一での会話、言動、仕草や表情の読み取り等)の中からご本人の思いや意向を汲み取っている。キャッチした情報は、申送り・連絡ノート等で共有している。	
24			○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面接でご本人・ご家族から生活歴の情報を得て記録。家族以外の方が面会に来られたとき、新たな情報を得たときも記録して職員が情報を共有して対応できるように努めている。		
25			○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で一人ひとりの行動や発する言葉等を通して、今ある機能等の現状把握に努めている。		
26	(13)		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の少しでもできることを十分に把握し、そのできることを活かして自立支援に向けたケアができるように、ご本人・ご家族・職員等で意見交換して介護計画に反映している。	入居者の思い・意向、家族の要望に職員の意見を踏まえ現況に即した有用性の高い介護計画を作成している。毎月のケアカンファレンス・モニタリングを通じ計画の見直し等につなげている。	一人ひとりの介護職員の観察力を高め、更なる本人本位の介護計画書の作成継続に期待をします。
27			○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中でご本人の変化に気づいた時は個別記録に記入。職員会議等で検討して職員間でケアの統一・実践を図ると共に介護計画にも反映している。		
28			○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の思いや要望に耳を傾けて、その思いや要望が適うように柔軟なサービスの提供ができるように努めている。		

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会長や地域の方の協力のもと地域のまつり等の行事に参加。またボランティアの協力で行事等行い地域の児童等と交流し楽しい時間を過ごして頂くように支援している。		
30	(14) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、ご本人・ご家族の希望を伺い、近くの病院の主治医か民間のかかりつけ医にご家族等の希望通りに支援している。	定期受診・急変時の対応とも家族と協同しながら取り組んでいる。入居前からのかかりつけ医を継続している方もおられる。また、併設の介護老人福祉施設の医師が協力医となっている。	
31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要時、併設している特養看護職と連携をとり相談後、一人ひとりの方が状態にあった適切な受診ができるように支援している。		
32	(15) ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人が入院時、情報提供書を病院側に提供。入院中は面会等によりご家族・病院関係者と連携した状態の把握に努めている。退院時、病院主催のケアカンファレンスに出席及び情報提供書により退院後のケアに活用している。	この一年間には入院者はおられなかったが、入院者への対応としては、早期退院を前提に家族と共に連携している。退院時には、退院後の予後のケアに不具合が生じないよう詳細な情報を入手している。	
33	(16) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は、ご家族にご本人の現状を報告すると共に等事業所で出来るケアの範囲を説明。ご家族・主治医・職員間で連携し、ご家族の要望に添った支援を最後まで続けられるように取り組んでいる。	そのような状況が生じた時には事業所が「できること」「難しいこと」を明確にし、ご本人にとって望ましい支援となるよう関係者(本人・家族、医療従事者、事業所)で相談・検討し取り組んでいる。併設事業所も受け入れの体制を整えている。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し全職員が即応できるように周知徹底を図っている。消防署の指導によるAEDを用いた救命講習会を開催し急変時に対応できるように取り組んでいる。		
35	(17) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を含めた防災訓練を毎年実施し、災害時は併設の施設と協力体制を築いている。運営推進会議等を通じて地域の協力をお願いしている。	年2回、法人全体での通報・消防・避難訓練(日中帯・夜間帯想定)を実施している(消防署の立会いあり)。有事には近隣住民の協力も得られる状況となっている。また、水・非常食等も備蓄している。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの尊厳を保持した言葉かけに努め職員研修等で基本的人権の尊重・プライバシーの保護等人権についての学習を行い職員の意識の向上を図り、日常の言葉かけ・対応は自己決定により支援している。	入居者お一人おひとりの「今」を踏まえ、自尊心・羞恥心に充分配慮しながら今まで培ってこられた事柄(技能・習慣・趣味等)が日々の暮らしの中で表現できるよう支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活での言葉かけはご本人の希望や思いを表現できるように対応している。自己決定によりその思いや願いがかなうように支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの日々の状態の把握に努め、その日の状態にあった一人ひとりのペースを大事に守り、無理強いしないでゆったりと過ごして頂けるように支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本的に一人ひとりが選んだ衣類を着て頂いている。衣類の色柄や季節に合った物を選ばれるとき、どれが良いか聞かれたらアドバイスをして身だしなみやおしゃれ心が保たれるように支援している。			
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの今ある機能を発揮して頂くように、希望の献立を皆さんにお聞きして、その献立により食事の準備・後片付けを個々の機能を活用して頂き職員と一緒に食事が楽しめるように支援している。	献立作り、食材購入、下拵え(包丁・皮むき等)、洗い物等、個々人が望む部分及びできる部分を職員と会話を楽しみながら行っている。外食やイベント食、手作りおやつも喜んでおられる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が栄養バランスを考慮した献立を作成している。食事の形態をキザミ、ミキサー食等一人ひとりの状態に合わせ全量摂取して頂くように努めている。水分は咽等ある方にはトロミをつけて水分摂取がしやすいように支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前・後に嗽や歯磨き、義歯洗浄を勧めご本人の今ある機能を活用して頂くことをして頂きできないところは支援し、一人ひとりに合った口腔ケアで口腔内の清潔保持に努めている。			

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人の尿・便意で希望によりトイレに案内している。失敗されることが時々あるため排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握。時間的間隔を考慮し早目にトイレに案内し排泄の失敗を減らすための支援を行っている。	入居者個々人の現況及び排泄パターンとそのサインを踏まえ、トイレでの排泄が実践できるよう支援している。夜間帯もトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を図るため、起床時から就寝時まで日中を通して水分摂取に努めている。食事は野菜を沢山召し上がって頂き繊維質が多量に摂取できるように工夫している。歩行訓練・散歩等を中心に運動を勧め、排便時は腹部マッサージ等一人ひとりに合った支援を行っている。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの状態を把握し、ご本人の希望を伺いながら納得して頂き浴室へ案内し、洗身等自分でできることをして頂けるように言葉かけを行いゆったりと自分のペースで入浴ができるように支援している。	週2回以上の入浴を基本に、ゆったりゆっくりとした入浴時間となるよう職員との会話も楽しんでおられる。希望により毎日入浴の方もおられる。季節湯(ゆず湯、菖蒲湯)も楽しみにしておられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり日々の状態を把握し、ご本人の希望を伺いながら自己決定を基本とし、都度居室へ案内して休息や穏やかに就寝して頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は一人ひとりの処方薬の目的・用法等把握。服薬時はご本人と薬袋を確認し誤薬の防止を図っている。一人ひとりの状態の把握に努め異変時は家族・主治医等と連携が適うように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の今ある機能を活用して貰うため、生活歴を把握し食事の準備・後片付け、洗濯物干し・たみ等家事などの軽作業を勧め、無理強いないで一人ひとりの能力に合った役割を持って頂き生きがいに繋がるように支援している。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望により自宅周辺・墓参・以前の勤務箇所等の馴染みの場所へ都度外出支援を行っている。天気の良い日は施設周辺の散歩や花見や紅葉狩り等の季節毎の行事や近くのスーパーマーケットへ買物及びレストランでの食事等に外出支援を行っている。	公園への散歩、買い物や草花・野菜への水遣り等、計画的に外気に触れる機会を設けている。地域見聞録(家族・ボランティアと共に)や季節の花見、馴染みの場所等への外出を希望に応じ少人数で実施している。	入居者のADLの低下や個々人の想いも違い、個別対応にも工夫と労力が求められることと察しますが、今後も今迄同様に「利用者の思いに沿った支援」の継続に期待をしています。

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望により買物に出かけ、スーパーマーケットなどで希望の品物があれば現金を渡してご自身で支払をして頂くように支援している。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人ひとりの希望により自宅や知人等へ電話の取次ぎをしたり、年賀状や手紙などで自由に連絡ができるように支援している。		
52	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設周辺は自動車の騒音もなく安全で静かな自然環境の中、四季を感じながら生活できる。施設内の共用箇所の居室・廊下・ホール・トイレ・浴室等全てバリアフリーで広くゆったりと居心地良く暮らせるように配慮している。整理・整頓に努め気持ち良く過ごせるように努めている。	ホールの天窗(吹き抜け)からの自然光の変化や事業所周りの草花、玄関口の季節飾りは季節の移ろいを感じとれ、リビングのソファスペースや生け花や壁面の飾りつけは、憩いの時空間を演出している。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人の希望によりホールのテーブル席又はソファ席でゆったりと一人で過ごされたり、気の合ったご入居者同士が会話をされたり、日々一人ひとりの思い通りに過ごせるように支援している。		
54	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には以前ご本人が使っていた馴染み深い品物や家族の写真等、家族の協力を得ながら見れば本人が落ち着いて安心できる居場所になるように努めている。	使い慣れた馴染みの物や大切な物(筆筒、テレビ、仏壇、家族写真等)を持ち込み、居心地のよいゆったりとした居室が設計されている。ADLの変化への対応も家族と相談し設えを工夫している。	
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は一人ひとりが今ある機能を活かせるように床のバリアフリーや手摺、ドアの開閉等に配慮し、安全に安心してできるだけ自分の力で生活できるように工夫している。		